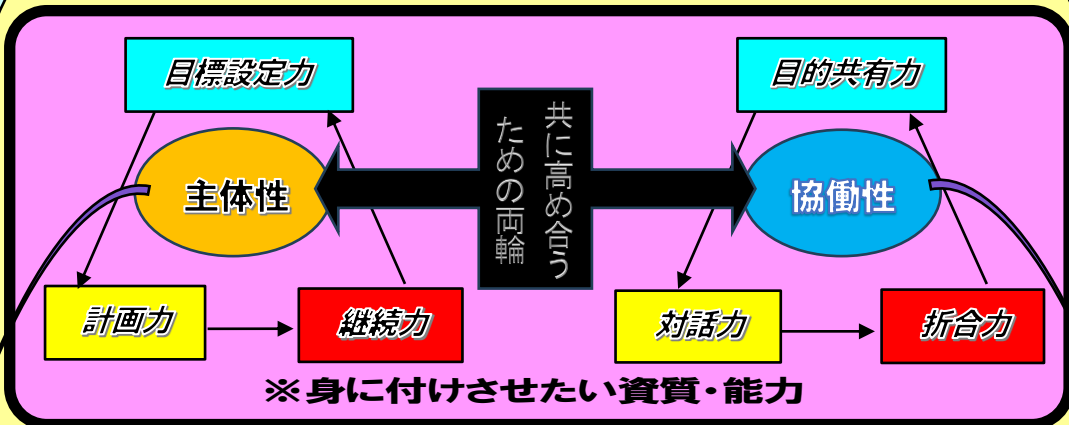


【学校教育目標】

夢に向かって挑戦し、自信と誇りを持つ子どもの育成  
～自分で考え、考えを伝え合い、共に高め合う人へ～

【めざす生徒像】○将来の夢や希望をもち、目標達成に向けて実行する生徒  
○深く考え、自ら進んで学ぶ生徒  
○自分を律し、他を尊重し、他と協力する生徒



【基盤】  
○向上する意欲 ○知識・技能 ○学級の支持的風土  
○袋ブランド「挨拶・返事・服装・掃除・時間」

【基盤をつくる教師の姿勢等】  
○生徒理解（特別支援教育の視点）と生徒の人権尊重（人権感覚）  
○「認め・ほめ・励まし・伸ばす」関わり  
○自他を高める教師の「主体性」と「協働性」

すべての教育活動（授業・生徒会活動・日常生活等）で

生徒（生徒会テーマ「善力前進～互いのために行動し、仲間と共に進化し続ける袋中生～」）、  
家庭、保小、地域、教育委員会との共有・連携

「主体性」を支える

**目標設定力**  
問う、課題を見出す、理想を描く

**計画力**  
見通す（解決の道筋や方法を考える）

**継続力**  
やってみる、続ける、振り返る

「協働性」を支える

**目的共有力**  
思いや願い・課題を分かち合う、同じ方向を向く

**対話力**  
考えを伝え合う、受け入れる、改善策を出し合う

**折合力**  
話を整理する、妥協点を見出す、取組を決定する